

令和2年第2回定例会一般質問要旨

◎高橋議員

1. 情報通信基盤(ブロードバンド回線など)の整備について

現在の情報化社会において、あらゆるものをインターネットに接続することが標準化しつつあり、それらをつなぐ回線は、道路・上下水道・電気などと同様に今や必要不可欠なインフラ整備の一つであると考えます。

高速で大容量かつ常時接続可能な安定したデータ通信を必要とする今、ブロードバンド回線などの情報通信基盤の整備についてどのような考えをお持ちなのか、以下に伺います。

- ① 現在の町内には、各種の情報通信回線が引かれておりますが、回線によっては、基地局から遠くなるにつれ通信速度が遅くなるなど期待どおりの通信が出来ないとの声があるため、現在の町内全域の有線情報通信回線(種類別の敷設状況・世帯カバー率など)の状況について町としてどこまで把握しているのか、また、有効快適な通信のためには光ファイバー回線の整備が必要急務であるとの考えから、それらの整備について町としてどのような考えをお持ちなのか伺います。
- ② 農業界において、人出不足・遠隔操作・各種監視システムなどこれからの経営効率を図るために「スマート農業」の導入が注目されており、GPSなどの活用もあれば、光回線などの安定したブロードバンド通信環境の活用が主流と聞いております。しかし、情報通信環境が未整備の地区があり、また、設備機器・システムの導入には多額の費用が必要、かつ、それらの維持管理にも相応の費用が掛かると聞いていることから、「スマート農業」に対しての町の考えと、今後の支援としてどのような考えをお持ちなのか伺います。
- ③ 今年度整備される「防災行政無線」ですが、災害に備えて的確な情報を瞬時に伝える、町民の安全安心な暮らしのためにとっても有難い仕組みと感じておりますが、これらの情報通信環境をより有効に利用し、防災に限らず町民の役に立つ、また別の有益な使い方があるのではとの考えから、防災無線以外の利用についてどのような考えをお持ちなのか伺います。

令和2年第2回定例会一般質問要旨

◎三田議員

1. 長期臨時休校時の児童・生徒の家庭学習に対する支援について

新型コロナウイルスによる緊急事態宣言が出され、学校が長期の休校になり外出も制限されました。

休校中の子ども達への対応として、主に私立の学校でオンライン授業を行っている学校が多くありましたが、この度GIGAスクール構想・学校ICT環境整備事業を実施し学習環境の充実を図ることとなりました。

PC端末を1人1台としてオンライン授業が可能になることは、今後コロナによる再度の休校や災害時の休校などにも大いに期待していますが、オンラインの授業をどのように具体的に行っていくのか、教職員などのオンライン授業の研修などはどうなっているのかソフト面での対応について伺います。

2. 新型コロナウイルス感染症予防について

① 学校でのマスク着用に伴う熱中症対策について

学校では感染を予防するために密にならない教室の配置など、どのように行っているのか、また夏に向かいマスクの着用による熱中症対策はどのように行っていくのか伺います。

② 避難所での感染予防対策について

本州は梅雨の時期になりました、北海道も近年猛暑や梅雨のような気象状況になってきています。災害も毎年のようにあり、本町でも避難を余儀なくされたとき、避難所での感染予防対策として密にならない方法、換気などの対応について伺います。

令和2年第2回定例会一般質問要旨

◎但木議員

1. 新型コロナウイルス感染症対策について

① コロナ禍の下での第8期介護保険事業計画について

今年度は第8期介護保険事業の計画年度ですが、国は施設利用者の食事費負担の引き上げや、介護サービス利用料の月額負担上限額の引き上げを打ち出しています。

しかしその後発生した新型コロナウイルス感染症の拡大により、介護の現場は一変し介護崩壊が起きかねない状況となっています。

このような状況において、町にあっては第8期介護保険事業計画にサービス利用者の負担増をくみ入れる事のない対応を求めるものですが、考えを伺います。

② 国保税の納入について

今年度の国保税が確定したところですが、コロナの影響で減収した人への対応が必要と思ひ、その考えはあるのかお伺いいたします。

③ 新生児に対する10万円の給付について

国の国民1人当たり10万円給付は4月27日時点で住民登録のある人が対象となっていますが、それ以降に生まれた新生児にも独自に給付する動きが各自治体で広がっています。

わが町もこのコロナ禍のもとで不安を抱えながら出産を迎え、誕生する新生児に給付をする考えがあるかお伺いいたします。